

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495000653	事業の開始年月日	平成31年3月1日
		指定年月日	平成31年3月1日
法人名	㈱ケア		
事業所名	グループホーム日の出		
所在地	(〒210-0824) 神奈川県川崎市川崎区日ノ出1-12-8		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和4年1月12日	評価結果 市町村受理日	令和4年8月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「笑顔の介護」「ご自宅と変わらない安心感」を理念に掲げております。事業所の特徴としましては、午前中を活動的に過ごせるようにクラブ活動やレクリエーションに力を入れております。全員一律なレクの参加ではなく、個別にご興味があるものに参加していただくようなクラブ活動を多く開催しております。内容は「書道」「外国語」「ダンス」「ネイル」「卓球」などがあり、ご利用者様が講師役なることもあります。ご家庭と変わらぬ安心感を持って頂けるように、お部屋の小物やお茶碗などの食器を入所時にお持ちいただいております。イベント、壁飾り、手作りカレンダーは季節感が感じられるよう工夫しております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年2月21日	評価機関 評価決定日	令和4年6月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、京急大師線「大師橋」駅から徒歩約7分の静かな住宅地に立地しています。1階は地域交流スペースがあり、地域の人も受診できるマッサージの整骨院もある3ユニットの事業所です。

<優れている点>

法人は「心」と「技術」のあるサービスを考え、「笑顔の提供」を理念としています。この理念に沿って、事業所の理念は「個性を尊重し、笑顔を忘れず」、「その人の個性を尊重し笑顔を決やさず」、「明るく、楽しく笑顔で自宅と同じような安心感」と各ユニット毎、開設時に作成しています。職員は理念の共有とサービスの実践に努めています。利用者の生活記録を整備し、体温、血圧、脈拍のバイタル測定、食事摂取量、口腔ケア、配薬、排便・排尿の時間別記録などを1ページにまとめて記録し、すぐに把握できる仕組みとなっています。利用者の体調管理と職員間で情報を共有し、介護計画の見直しにも活かしています。また、医療面では、医師と看護師が連携を図りながら安心して医療の受診と健康相談ができる体制を整えています。重度化した場合の対応指針を説明し、利用者・家族の意向を確認しながら看取り介護を行う体制も確立し、看取り介護も行っています。

<工夫点>

毎月写真入りの「ひので便り」を家族に送っています。おせち料理や習字、おやつレクリエーションなどの行事や、コロナ禍の面会禁止の知らせなどを報告し、家族の安心につながっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	桜

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○※	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

※コロナ感染対策により

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」「ご自宅とかわりない安心感」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。	開設時に運営法人の笑顔の提供を第一の基本理念とし、各ユニット毎の独自の理念をフロアの入り口に掲示しています。職員はフロアミーティング時に確認し合い、理解を深め実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルスによりイベントの開催や参加はできませんでしたが、ご利用者様のお散歩や、玄関掃除の際、近隣の方にご挨拶をすることでコミュニケーションを図っております。	正月には地元の神社や川崎大師へ初詣に外出しています。また、町内会の廃品回収日に地域の人と交わす挨拶や、事業所1階の地域交流スペースを利用し、体操、カラオケ、フラダンスを行っています。近隣にある老人のいこいの家や子ども文化センターなどで地域の子どもと一緒に楽しむなど、多岐にわたり地域との繋がりを大切にしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ホームの行事に参加いただいたり、ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催で現状報告、研修の開催、地域・医療との意見交換をし交流を深めております。	運営推進会議は民生委員、町内会婦人部、法人顧問弁護士、社会保険労務士、医療連携医師、家族をメンバーとし2ヶ月毎に開催しています。会議では新型コロナウイルス感染拡大予防対策や緊急時の職員体制などの話し合いをしています。現在はコロナ禍のため書面報告にしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。	川崎区の高齢者事業推進課へ運営面や業務上の相談をしています。介護度の認定更新は家族に代わり職員が書類を提出し、立会いもしています。川崎市認知症キャラバンメイト連絡協議会に加入し、情報交換を行い、地域の社会福祉連絡協議会にも参加しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新入就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチ ロック・ドラッグロック等の事例検討を行っております。	身体拘束・虐待廃止委員会を設置し、事例を交えて話し合いをしています。職員は年間研修一覧表にて研修を受講しています。フロアミーティングでも話し合い、正しい理解に努めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。また介護保険関連施設等の報告書や事例を配布し職員全体の理解を深められるよう勉強会を開催しております。	虐待防止マニュアルを整備していません。身体拘束・虐待廃止委員会では、事例に基づいて勉強会を行い、職員は正しい理解に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテーク面接の時点からご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナの影響で面会は原則禁止になりましたが、週に1回ユニットリーダーが定期的にお電話にて日頃の様子をお伝えすることで信頼関係を築いております。ご家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております	毎月、各ユニット毎に家族へ「ひので便り」を送付しています。コロナ禍により面会ができない今は、家族に電話で利用者の体調報告を行うなどコミュニケーションを図っています。家族から面会はいつ頃からできますか、などの問い合わせや、意見などを聞いて運営面に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております	管理者は朝・夕の申し送り時や、フロアミーティング時に、日常業務の要望や意見を聞いています。介護職員増員の要望や、職員同士の指導の質問などがあり、業務の改善に反映しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいを 持って働ける環境が整備されております	事業所には身体拘束・感染症対策、レクリエーション、研修、広報などの委員会を設置しています。職員はいずれかに所属し向上心を持って働ける職場環境に努めています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修は「介護の基礎」的な内容のものから制度や専門的な内容の物まで幅広く行っております。時短のパート職の方でも参加しやすい時間帯を考慮し、全員参加でくるよう工夫しております。また「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるよう環境が整っております	年間研修一覧表があり、常勤・非常勤を問わず参加できるように支援しています。社内研修のほか、希望者には外部研修にも参加しています。研修では管理者などが講師を務め、職員が話し合い、互いに教え合うことで職員の質の向上に努めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たたみ」「プランターの水あげ」等のお手伝いをさせていただいています。やっていただいた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決させていただいております。コロナウイルスの影響で面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力していただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようにしております	利用者は家族と一緒に美容院や馴染みのレストランなどへ食事に行くことや、墓参りに出掛ける人もいます。知人や友人が来訪し、地域交流スペースでゆっくりお茶を飲みながら歓談できるよう支援しています。年賀状の返信を書く利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしておりませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております	食事の味付けや職員の接遇に対する利用者の要望を書いたアンケート結果を事業所の1階の地域交流スペースに掲示しています。職員の目につきやすい場所に掲示することで、職員が利用者の要望を尊重するように工夫しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者様の経過観察を報告 し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時 においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。	入居時に利用者や家族と話し合い、アセスメントを作成しています。職員間で話し合い、主治医や看護師の意見を参考にして介護計画に反映しています。年2回のモニタリングの際には、可能な限り家族と面談し、家族からの要望を採り入れています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員 間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。	入居前からのかかりつけ医の医療機関を継続して受診できるように支援しています。協力医療機関では夜間の当直担当医が待機しており、緊急の往診にも対応できる体制となっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用者様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを 受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。	看取り介護の事例は多くあります。終末期医療に向けた方針は、利用者、家族の意向を尊重し、医療関係者、職員で情報共有をしています。入居の際に終末期の意向確認・同意書を利用者、家族と取り交わし、緊急時の対応についても話し合っています。	急変時や重度化に備えて、職員研修を行い、一層充実した終末期ケアに取り組むことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修（スマイルケア）やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。所属看護師による勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的実施しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	各ユニット、毎月1回誘導訓練をしております。火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。訓練時は近隣の方へ参加をお願いしております	避難誘導訓練は発生時間帯や出火場所を変えて実施しています。訓練では利用者の行動特性を把握し、実際の避難に活かせるようにしています。非常災害用の食料・飲料水は1週間分備蓄し、リストも作成しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の尊厳やプライドを損なわないように注意し声掛け等行っています。人生の大先輩であるという事を忘れずに、言葉使いにも気を付け、笑顔で優しい声掛けや挨拶をするよう心掛けています。	スピーチロック（言葉の拘束）をすることがないように職員間で注意し合う関係を築くよう努めています。トイレへの誘導の際には、利用者の耳元で小さい声で伝え、羞恥心に配慮をしています。笑顔をやさしくことなく利用者に接しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の中でご希望をお聞きし「どちらがいいですか」等声掛けや提案をし自己決定出来るようお話をしています。自己決定が難しい方は職員がその方に合った選択と一緒に出来るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調やご気分に合わせて、何事も無理強いせず、その方のペースに合わせて日々生活をして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	二カ月に一回訪問カットに来て頂き髪型を整えています。季節ごとに衣替えや居室の衣類の整理や点検を行い、その方に適している衣類かを確認しています。女性の方で行事の際にはお洋服をご自身で選んで頂いたりお化粧をしたりと楽しんで頂いています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューに沿って野菜切りや盛り付けのお手伝いをして頂いています。食器拭きもやっています。また、毎月食レクやおやつレクを行い、いつもと違うメニューを喜んで頂いています。行事の際には職員の手作りの物もお出ししています。	献立と食材は外部業者へ委託し、職員が味付けなどの調理をしています。食事の用意など職員と一緒に手伝う利用者もいます。季節の行事や誕生会にはケーキを用意し、お祝いしています。近隣のファミリーレストランに外食に出掛けるなど、食事が楽しめるよう工夫しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事形態、食事は個別に提供しています。食事、水分量、排便チェックは職員が記録にて共有しています。また、毎月初めに体重測定を行い利用者様の体調把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎の予防等に努めています。また毎週一回の訪問歯科と連携をとり、声掛けや介助が必要な方は職員がお手伝いし、一人一人に合った口腔ケアを実施しています。食事の前には口腔体操も行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活記録より個々の排泄パターンを把握しお声掛けにて介入しています。リハビリパンツやパッドがその方に合っているか等見直しを適宜行っています。	職員は利用者の生活記録により、排泄パターンを把握しトイレへ誘導しています。リハビリパンツやパッドは、個々の利用者に合った大きさのものを選択して提供し、無駄に使用することのないように留意しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄記録にて便困把握し、体操やマッサージ、散歩等の運動を取りいれたり乳酸菌飲料を提供したりとなるべく自然排便を促しています。必要に応じて下剤の使用をする場合もあります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴の曜日は決まっておリ週2回は入って頂けるようにしています。入浴剤を使用したり季節の湯（菖蒲湯や柚子湯）も実施しています。体調に応じて短めにしたり曜日を変更したりする場合があります。お身体の状態によって機械浴も使用します。	入浴は基本的には週2回とし、夏場は3回の人もあるなど、個々の要望や状況に合わせて臨機応変に対応しています。浴室にはリフトが設置されています。シャンプーや石鹸、タオルの入浴用品は脱衣所に清潔に整理整頓しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜なかなか眠れない方は日中に散歩や運動等の活動を取り入れ、安眠できるように努めています。日中もその方にあった就寝や起床時間を職員が把握し、仮眠も取り入れる等それぞれの方が休息できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	往診時に主治医や看護師、薬剤師と相談し、連携を取り、一人一人の身体状況に合わせて薬の処方をお願いしています。また薬の変更等あった方は職員に周知し情報共有しています。日常で何か変化があればすぐに相談できるような体制にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ケアプランやその方の情報から生活歴や趣味、好きな事等があれば個別に対応し、また季節の行事等皆様が楽しんで頂けるようなレクリエーション等の企画もしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルスの影響もあり外出の機会は減りましたが施設内の交流スペースや裏庭への外気浴、近くの公園への散歩等行っています。自宅への一時帰宅や受診時には御家族様にご協力頂き感染対策をして頂くよう努めています。	天気の良い日には、事業所の裏庭、近隣の公園に外気浴に出かけています。ウッドデッキで日光浴をする人もいます。コロナ禍前は商店街のスーパーマーケットに職員と一緒に出掛けて買い物を楽しんでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナウイルスの影響もありなかなか外出が難しくなっているため、何か欲しい物がないかお聞きし必要な物は職員が代わりに買わせて頂いています。（以前は近所でお茶をしたり市域のイベントに参加したりしていました。）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望があれば定期的にご家族様と電話で会話を楽しんで頂いています。ご家族様から手紙が届いた際は職員からお渡ししています。必要な方は携帯電話もルールを守って頂き所持して頂いています。暑中見舞いや年賀状は写真入りのハガキをお送りしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロア内に手作りカレンダーを作成し貼り出しています。その他皆様と季節の製作等も行いフロア内に飾っています。トイレの場所や、席が分からなくなってしまう方には声掛けし、掃除もこまめに行い清潔で明るいフロアであるよう努めています。	吹き抜けの中庭があり、採光が十分に明るい雰囲気です。壁面には職員と一緒に作成したカレンダーや切り絵などが飾ってあります。1階には地域交流スペースがあり、様々なアクティビティを行うスペースとなっていて、整骨院があり、地域の人もマッサージを受診しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファや椅子を用意しそれぞれお好きな場所でゆっくり過ごして頂いたり、テレビを観たい方はテレビの前に座って頂く等しています。また人間関係にも配慮しコミュニケーションが取りやすいよう座席の位置等を考えています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご自宅から馴染みのある家具や、ご家族様のお写真等、それぞれ好きな物をお持ち頂き心地良く過ごして頂けるようにしています。また、必要な物があれば持参して頂けるようご家族様にもご協力頂いています。	居室は適度な広さで明るく、利用者の馴染みの思い思いの品が飾ってあります。居室担当職員が整頓し、掃除も行き届き清潔に保たれています。居心地よく安心して暮らせるように支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各居室の表札、トイレ表示も分かりやすいように大きく表示しています。必要な場所に手すりの設置をしたり名前を貼ったりと皆様が分かりやすく使いやすいような配慮をしています。		

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	椿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○※	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

※コロナ感染対策により

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」「ご自宅とかわりない安心感」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルスによりイベントの開催や参加はできませんでしたが、ご利用者様のお散歩や、玄関掃除の際、近隣の方にご挨拶をすることでコミュニケーションを図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ホームの行事に参加いただいたり、ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催で現状報告、研修の開催、地域・医療との意見交換をし交流を深めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新人就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチ ロック・ドラッグロック等の事例検討を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。また介護保険関連 施設等の報告書や事例を配布し職員全体の理解を深められるよう勉強会を開催しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人 制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテイク面接の時点から ご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナの影響で面会は原則禁止になりましたが、週に1回ユニットリーダーが定期的にお電話にて日頃の様子をお伝えすることで信頼関係を築いております。ご家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいを持って働ける環境が整備されております		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修は「介護の基礎」的な内容のものから制度や専門的な内容の物まで幅広く行っております。時短のパート職の方でも参加しやすい時間帯を考慮し、全員参加できるように工夫しております。また「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるように環境を整っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たみ」「プリンターの水あげ」等のお手伝いをさせていただきます。やっていただいた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決していただいております。コロナウイルスの影響で面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力していただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしておりませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者様の経過観察を報告し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時 においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用者様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを 受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修（スマイルケア）やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。所属看護師による勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的の実施しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	各ユニット、毎月1回誘導訓練をしております。火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。訓練時は近隣の方へ参加をお願いしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳を傷つけないお声掛けをしています。訪室時、お声掛け時のノックなどプライバシーを損ねない配慮をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の思いを傾聴し、またいつでもご自分から発信して頂けるようにスタッフがゆったりとした姿勢で過ごしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	それぞれのペースで生活して頂いています。レクレーションや行事なども参加したくない時は強要しません。普段の役割や入浴などもやりたくない時はお休み頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の整容へのこだわりなどを維持確保できるように支援しています（ご家族との連携など）訪問カットの際はご本人様のご要望に合わせたカットをしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材を切る、盛り付ける、食器洗い、お皿拭きなどご利用者様と共同で行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	嗜好、食形態を把握し食事、おやつ、水分を提供しています。その日の体調に応じて柔軟に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科と連携し個々に合った口腔ケアを実施しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄リズムを把握しお声掛けしています、マジックテープ付きパットを使うなどして自立支援しています、ご本人様がお困りの時にはお手伝いをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々の排便リズムに合わせた支援をしています。普段より乳酸菌飲料を提供する、体操するなどして自然なお通じを促すように配慮しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日は決まっていますがお声掛けの際に自己決定して頂いています。入浴したくない時は日時変更や体調に合わせて清拭を行ったり足浴を行ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の体調に合わせた生活リズムで過ごして頂いています。睡眠不足であればお昼寝を設けたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬の変更などの情報を往診記録や申し送りにてスタッフで共有し症状の変化に留意しています。飲みにくいお薬は飲みやすいように工夫して提供しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々に合った役割を持って頂いています。実施するときは必ずご本人様に意思決定をして頂いています。合同レクリエーションも嗜好が偏らないようにしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族との外出、外泊や日中近隣の公園などへの散歩を行っています。コロナ禍の為、地域行事への参加や外食などは実施出来ませんでした。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご要望あれば近所のスーパーへお買い物へ行ったりしていますがコロナ禍で実現する事ができませんでした。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	暑中見舞い、年賀状をご家族にお送りする際出来る範囲でご利用者に自筆頂いています。またご家族へ電話をしたい、面会がしたいとご要望あればご家族に連絡をして実現するようにしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感を感じて頂けるように毎月のカレンダー作成し壁に貼っています。共用スペースでは導線をふさがないようにしています。トイレ洗面台などはこまめに掃除し気持ちよく使って頂けるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自席以外でもご気分移動できるようにソファを置くなどしています。お好きな時間にご本人様のペースで自室で過ごして頂いています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内はご本人様の馴染みの物をお好きなように配置しています。照明や空調もご本人様に併せて設定しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	導線確保や手すりの配置、トイレなど共用部分の標識などに配慮しています。		

事業所名	グループホーム日の出
ユニット名	楓

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○※	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

※コロナ感染対策により

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔の介護」「ご自宅とかわりない安心感」を理念に掲げております。職員と共有できるようホームの数か所に理念が掲示してあります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルスによりイベントの開催や参加はできませんでしたが、ご利用者様のお散歩や、玄関掃除の際、近隣の方にご挨拶をすることでコミュニケーションを図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ホームの行事に参加いただいたり、ご見学していただくことで地域の方にも認知症の方の理解をいただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度の開催で現状報告、研修の開催、地域・医療との意見交換をし交流を深めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	キャラバンメイトの参加、認知症サポーター開催のお手伝い、包括との意見交換会等、積極的に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束・虐待廃止委員会による3か月に1度の研修のほか、新入就任時においても個別研修を行い周知徹底しております。各ユニットのフロアミーティングにおいてもミニ勉強会を行いスピーチロック・ドラッグロック等の事例検討を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修やマニュアルを作成し防止策に努めております。また介護保険関連施設等の報告書や事例を配布し職員全体の理解を深められるよう勉強会を開催しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	運営会議にて「後見人制度」の研修や「日常生活自立支援事業」の勉強会を開催いたしました。また勉強したことを個々のフロアミーティングで周知し、職員も知識を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前のインテーク面接の時点からご家族様の不安や疑問にお応えできるよう十分な説明をし、ご理解をいただけるよう努めております		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナの影響で面会は原則禁止になりましたが、週に1回ユニットリーダーが定期的にお電話にて日頃の様子をお伝えすることで信頼関係を築いております。ご家族様から要望・苦情があった場合は、フロアミーティング等迅速に開催し、サービスの向上に努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットのフロアミーティングで上がった議題は、毎月行われる運営会議で報告しております。また運営会議の内容はユニットリーダーから各ユニットに報告がなされ情報共有しております		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員は個々の職位・資格等級に合わせて給与額が設定されておりやりがいをもち働ける環境が整備されております		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修は「介護の基礎」的な内容のものから制度や専門的な内容の物まで幅広く行っております。時短のパート職の方でも参加しやすい時間帯を考慮し、全員参加でくるよう工夫しております。また「実践者研修」等の外部研修も積極的に参加できるよう環境を整っております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の開催するキャラバンメイト連絡会や、社協開催行事等に積極的に参加することで同業者とのネットワークを作り交流を深めサービスに役立てております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始前は、ご本人様の思い・要望・困りごと等を傾聴し信頼関係に努めております。「その人らしさ・今できる強み」を見つけ、傾聴の中にも共感を持ち工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階で、まず「ご本人様の困りごと」「ご家族様のこまりごと」と傾聴いたします。ホームでどのように生活してもらいたいかをお聞きしケアプランに組み入れ、職員間で共有いたします。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずはじっくりとご本人様・ご家族様のお話を伺い、受容いたします。後、多職種と連携し必要としている支援を見極めていきます。その人の「出来る事」に視点を置いたサービスに努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の「できる事」に視点を置き、「お皿ふき」「洗濯たたみ」「プランターの水あげ」等のお手伝いをさせていただいてます。やっていた事には感謝をし、共に生活を送る良き関係を構築しております		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来園時にはご利用者様の近況・体調面等のお話をこまめにし、ホームでの困りごと等はこちらから積極的に報告し一緒に解決していただいております。コロナウイルスの影響で面会制限を設けておりますが、ご家族様には週1回の定例の電話やお手紙にて近況をご報告させていただいております		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所時の面接から、ご本人様の趣味や出身地をお聞きし、支援に役立てられるよう努めております。ご家族様やご友人の方にも協力していただき、ご本人様の懐かしみの深い写真や思い出の品をお部屋に飾るようにしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の相性やADLに合わせて、テーブル配置・レクリエーション・散歩等工夫しております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームの利用契約が終了したあとはこちらから積極的なフォローはしておりませんが、相談があった場合には丁寧かつ親身に対応させていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	初回の面接時においてご本人様の生活スタイルをなるべく継続できるよう、ご意向を伺っております。ホームでの生活が始まってからも、本人の要望や職員の気づきは随時個人記録に記入して把握に努めております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時の面接においては、生活歴、環境、お仕事等のお話をできるだけお伺いしております。ホームでの生活にも生かせるように、郷土名物のおやつレクや、地方に伝わる遊び、歌など、サービスに工夫をしております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体状況（バイタル・食事摂取・排泄等）においては24時間の個別記録を付け、体調の変化を見逃さないよう努めております。また日ごろから個々のアクティビティを観察し個人記録に記入することで一人ひとりの有する力を把握しケアプランにも活かしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	毎月のフロアミーティングでは各居室 担当者がご利用者様の経過観察を報告し短期目標達成のための意見交換をしております。ご家族様面会時や往診時においても支援の報告相談をこまめに 行い介護計画に反映しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々の入居者様の体調管理・身体状況・生活記録は毎日記録し、職員間で情報を共有しております。ケアプランをもとに、各ユニットではリーダーが「個別支援計画」を作成し、実践や介護計画の見直しに活かされております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームの生活では決まった訪問医療や訪問歯科・訪問美容がございますが、ご本人様やご家族様の希望を受け入れ、個別に柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	初回の面談時より、今までの生活スタイル・趣味・病歴等を詳しくアセスメントさせていただくことで社会資源を把握し、ホームに入所しても変わらず地域と密着していけるよう支援しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回提携医療機関による定期往診があり、24時間緊急体制・緊急時対応など適切な医療を受けられる体制が整っております。本人及び家族等の希望があれば、地域のかかりつけ医に受診ができるよう柔軟に対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員は、朝のバイタル測定や往診医申し送りノート等を活用し、ご利用者様の体調管理を常に把握しております。何か変化がおきたときは24時間対応の訪問看護に連絡し適切なアドバイスを 受け対応しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関と連携し、早期治療に努めております。入院になった場合も定期的に面会をし、情報共有やカンファレンスの場を設け、早期に退院できるよう努めております		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に重度化・終末期のあり方については、医療機関・ご家族様を含め、ご本人様の意志を尊重し方針を共有しております。看取りの際は再度ご家族様の意思を確認し医療とも連携しながら支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全体研修（スマイルケア）やフロアミーティングでのミニ勉強会において症状別の勉強会を行っております。所属看護師による勉強会（心肺蘇生法・応急手当等）も定期的実施しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	各ユニット、毎月1回誘導訓練をしております。火災、地震、台風、夜間など毎回想定を変えて、課題解決に努めております。訓練時は近隣の方へ参加をお願いしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室に入る際はご本人の承諾を得てから入るようにし、特に更衣、入浴、排泄ケアに関しては尊厳を持ったお声掛けや羞恥心に配慮するよう心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃から職員と利用者のコミュニケーションを大事にし、ご本人の視点に立ち支援できるよう努めております、解りやすく、伝わりやすい言葉でお話しするようにしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の体力、要望をもとにレクや体操などは強引ではなくご本人のペースに合わせて参加していただき、散歩、食器の片付け、洗濯畳み等個別対応出来るよう配慮し過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2カ月に1回訪問理美容にてカットをして頂いており、ご自身での整容や職員がお手伝いすることもあります。衣類についてはご本人と相談しながら、お好きな洋服を選んでいただいています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の好みなど聞きながら、行事食や、食レクを定期的に企画し、日頃のおやつも手作りの物を提供することもあります。準備や盛り付けなど一緒に行い、食事中は音楽を聴きながら召し上がっていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	タイヘイのメニューと食材を使用しバランスの良い食事を提供しております。一日の食事量、水分量を記録し摂取状況を理解し、個々の食事形態や能力に応じた食器類等の見直しを適時行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い誤嚥性肺炎の予防に努めており、毎週火曜日に訪問歯科をお願いし嚥下状況等のアドバイスをもらっています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご本人の排泄パターンや能力を把握し、お声掛けのタイミングやパットの種類を個々に適切した物を使用し排泄できるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をしっかり取っていただき野菜や乳製品をバランスよく摂れるよう心掛け運動などを行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	身体状況に合わせて、平日～土曜の午前中に1日3名を基準に週2回入浴して頂いています。出来る限りご本人の意思に沿った入浴支援ができる様務めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜ぐっすり眠っていただけるように、日中は体操や散歩、レクリエーションを行い、体を動かせるように努めております。居室内も個人の望む環境になるように配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医療機関や薬局に相談し指示を仰ぎながら行っております、内服前には名前、日時を声に出して読み上げ、服薬、飲み込まれるまで確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ケアプランをもとに一人一人の生活歴や趣味を理解し、出来る事、得意とされている事を本人の役割としてお願いしています。行う際は必ず意思確認を行い自己決定出来るように努めています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日中近隣への散歩を行ったり、外出などはご家族の協力を得ながら支援しております。地域行事や外食はコロナ禍の為出来ませんでした。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	施設で個人のお金をお小遣いとしお預かりし、利用者が必要な物や希望する物を購入したり、職員といっしょに買い物に行ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	暑中見舞いや年賀状をお送りする際、利用者に自筆していただいたり、ご家族様への電話や手紙の希望があれば出来る限り連絡が取り合えるよう対応させて頂いています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用のリビングには季節感を感じて頂けるように適時壁面作成をし飾っております。共用の空間は清潔感を保てるように定期的に掃除し居心地よく過ごせるように行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テレビや時には音楽を流しリラックスして頂けるようにしております。人間関係にも配慮し座席位置やソファを置くなどして空間、レイアウトに工夫おります。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内は家から使いなれた馴染みの物を持ってきて頂くなどし、安心して過ごして頂けるようにしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	表札を各居室の入り口に付け、トイレの場所も分かりやすく表示しております。安全に移動できるよう、手すりを設置したり、導線を意識し利用しやすい配置を心掛けております。		

2021年度

事業所名 グループホーム日の出

作成日： 2022年 7月 25日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	急変時や重度化に備えた職員の研修	重度化、急変時・終末期のマニュアル整備と定期的な研修や周知	重度化、急変時・終末期のマニュアル整備と周知を早急に進め、研修に関しては委員会を設置し概ね3ヶ月に一回実施する。	3ヶ月
2	10	職員を育てる仕組み	未経験者、無資格者に「認知症介護基礎研修」を受講してもらう	年内に無資格者全員に「認知症介護基礎研修」を受講してもらう 経験の浅い職員には社内研修を充実させ参加を促す	6ヶ月
3	37	自己決定の支援	利用者の持っている強みを活かし、自己決定できるよう支援する	ユニット全体でアセスメントをし直し、強みを把握する。必ず「どちらがよいか」をご本人様に尋ねる癖をつける	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月